

「大人の愛着障害」や複雑なトラウマを見逃すな！ 初回面談で必ずすべき4つの質問チェックリスト

「大人の愛着障害」や複雑なトラウマにも対応できる革新的な統合的アプローチをもっと詳しく知りたいですか？

今なら、電子書籍を無料でダウンロード→ <https://psychotherapy.jp/lp/dwgpse8cex/>

4つの質問

1. 「ストレス下で抱きがちな否定的な感情は何ですか？」

愛着障害や複雑なトラウマを抱える人は、ストレス下で極端な感情反応を示すことがあります。また、その感情は、いつも感じる馴染んだものであることが多いです。

2. 「これまでの人間関係で、繰り返し起こる否定的なパターンはどんなものがありますか？」

不安定な愛着や過去のトラウマは、繰り返される対人関係の問題として現れることがあります。

3. 「父母もしくは主たる養育者から十分に愛された実感がありますか？」

愛着障害の根源は多くの場合、幼少期の養育者との関係にあります。愛された実感の欠如は重要な指標となります。

4. 「自分は価値ある重要な存在だと感じますか？」

低い自己肯定感は、愛着障害や複雑なトラウマの共通の特徴です。

実践のポイント:

1. 質問の順序に注意を払う

現在の状況から過去の経験へと自然に話を展開させる。

2. 安全な環境を作る

クライアントが安心して答えられる雰囲気を作る。

3. 傾聴と共感を示す

クライアントの言葉に注意深く耳を傾け、適切に反応する。

4. 追加質問の準備

必要に応じて、より詳細な情報を得るための追加質問を用意する。

5. 段階的なアプローチ

一度のセッションですべてを聞き出そうとせず、継続的なプロセスとして捉える。

次のステップ

これらの質問への回答から気になる兆候が見られた場合、後続のセッションでより詳細に評価できるように計画を立てる。

注意！

この方法は、見逃しリスクを軽減するための簡易チェックリストであり、確定診断を目的としたものではありません。

「大人の愛着障害」や複雑なトラウマにも対応できる革新的な統合的アプローチをもっと詳しく知りたいですか？

今なら、電子書籍を無料でダウンロード→ <https://psychotherapy.jp/lp/dwgpse8cex/>